

土佐山田平成日曜市 活性化プロジェクト



Q 土佐山田平成日曜市活性化プロジェクトの主な取り組みについて教えてください。

プロジェクトの柱となる活動は『おはまる市』というイベントです。地域の方と私たち学生が、一緒にやって日曜市を盛り上げようと、毎年開催しています。学生団体によるステージイベントや出店などで盛り上げ、日曜市に足を運ぶきっかけになってくれればと思っています。

また、出店が少ないという声を受けて、出店者を募集するポスターを制作するなど、日曜市をPRする活動にも力を入れています。それから、これはプロジェクトの活動というわけではなくですが、大学の『地域共生概論2』という科目の中で日曜市を取り上げ、移住者の方を対象にしたお試し出店や、日曜市の課題等を探るためのアンケート調査を行ったりしました。移住してきた方の中で、今後の出店を希望している方が現在4人ほどいます。これは日曜市の活性化につ

ながる良いニュースだと思うので、手応えを感じています。

日曜市は商売を始めるのにはある意味手軽。移住者同士のつながりの中で、自分が作ったものを販売する手段として日曜市が認知され、広がっていきやすいなと考えています。

Q 若者の目から見た日曜市の魅力とは？

実は私たち2人も県外出身なのですが、私たちの地元でこういう市場はありません。独特の雰囲気があり、普通の店ではないという点は、差別化という意味で強みだと思います。私自身新鮮で面白いと感じたし、そう感じる学生は潜在的にかなりいると思います。

あと、何といたって出店者の皆さんのコミュニケーション能力の高さですね！お店の方から話しかけてきてくれるし、こちらが一つ質問すると3つも4つも答えが返ってくる。話好きの方が多くて、通ううちに顔見知りになれるので、日曜市に行くのがどんどん楽しくなっています。

Q どこを改善したら、日曜市はもっと良くなると思いますか？

アーケードの中が暗くて初めての人は入りづらい感じがあるので、照明を明るくすればいいなあと感じています。ただこれは、出店者の方や常連さんに話を聞くと、「これぐらいの明るさがちょうどいい」という声もあり、一概には言えないところがあります。あと、今のお客さんはすでに日曜市の魅力に気付い

ている常連さんが多いので、常連さんを増やすというかが、魅力を発信し続けていくことが大切かなと思います。

Q 最後に、日曜市の活性化に向けたPRをお願いします。

日曜市が昔のように活気づくためには、やはり出店の増加が必要だと感じています。日曜市のイメージというと、野菜とか果物を売りますが、基本的には何を売ってもいい。逆に、いろ

いろなものが売っているほど、多様性があって楽しい。ぜひ日曜市で商売を始めてみてほしいです。手作り雑貨やネイルアートのお店があっても面白いですよ。お年寄りの方も、結構オシャレに関心がありますから、イベントのときだけではなく、日常的に利用してもらうのが理想。私たちも、友達を誘って一緒に買い物に行くなど、身近なところからファンを増やしていきたいです。

土佐山田平成日曜市活性化プロジェクトは、高知工科大学の学生による団体で、さまざまなイベントや企画を通じて、日曜市を元気にする取り組みを進めています。若者の日曜市に対する思いと今後の展望を、代表の高原聖也さんと前副代表の横山友則さんに聞きました。

日曜市で気軽に商売はじめてみませんか

土佐山田平成日曜市

- 営業時間 6時30分～15時頃
- 出店資格 市内外問わず誰でも出店可
- 出店料 (1日当たり)
間口1m…1,350円 (臨時出店の場合)
間口2m…2,600円 (//)
- 出店申込先
代表 野中紀代穂 ☎090-8885-3988

ふるさと市

- 営業時間 7時～15時頃
- 出店資格 市内外問わず誰でも出店可
- 出店料 (1日当たり)
1店舗 1,600円
- 出店申込先
松尾干城 ☎090-3989-6868